

5 社会貢献に関する事項

第5次長期計画に掲げる社会貢献にかかる基本方針「社会の要請に応じて、産業界や行政、NPO、NGO等と連携を図りながら、社会人等に対して、生涯にわたる多様な学びの機会を提供するとともに、研究や社会連携活動を通じて持続可能な社会形成に寄与する」ことの実現に向け、龍谷エクステンションセンター（REC）を軸に事業展開を行う。

具体的には、①一般市民を対象に公開講座を提供する「生涯学習事業」、②企業からの技術相談や共同研究に対応する「産官学連携事業」、③大学の施設・設備を社会に提供する「施設開放事業」、④社会に有為な起業家の輩出をめざす「学生ベンチャー育成事業」、⑤地域社会が抱える福祉課題の解決を目的とする「福祉フォーラム事業」の施策を実行していく。

「地域連携事業」に関しては、2012年度に「社会連携・社会貢献連絡会議」を設置し、同様に社会貢献活動を行う学内組織間との情報共有や新たな取り組みの検討を進めてきた。2013年度は、同会議での検討をもとに行政や地元自治体との連携を図るとともに、深草キャンパス内に「地域連携活動・交流スペース（仮称）」を設け、学内外への情報の受発信の集約化し、地域連携事業のさらなる活性化を図ることとした。

また、知的財産センターについては、知的財産管理と産学連携推進の連携強化を図りつつ、良好な知財サイクルの達成をめざす。

1 生涯学習事業の展開

○公開講座「RECコミュニティカレッジ」を開講

仏教や文化・歴史、文学など、本学の研究成果を生かした講座を年間約440講座開講する。また、REC会員の満足度向上や新規の受講者獲得のために特別講演会を年3回開催する。

○東京・大阪での事業展開

関東エリアにおける本学の認知度向上をめざし、東京で浄土真宗・親鸞をテーマにした講座を展開するほか、明治大学との連携講座を実施する。大阪では大阪梅田キャンパスで平日夜間や土曜日の講座を充実させ、ビジネスマンなど新たな受講者を開拓する。

○次世代教育への積極的な関与

「龍谷ジュニアキャンパス」では、本学のサークルや教員が小学生向け講座を展開することで、保護者を含めた“龍大ファン”を増やす。また、大津商工会議所や大津市と連携した「夏休み子ども理科実験・工作教室」を開講し、地域への教育活動に積極的に関与する。

○連携講座による多様な学びの提供

京都市伏見区との連携（「伏見連続講座」）や、野村證券など企業のCSR活動と連携した講座を開講することで公開講座の多面性を保ち、多様な学習者のニーズに応えていく。

2 産官学連携事業の展開

○産官学連携における重点地域等の設定

戦略的重要度の高い滋賀県を重点地域として設定する。特に、湖南地域における産官学連携事業の優位性を確保するため、大津市とはさらなる関係強化を基軸に置いた活動を展開する。また、京都府、大阪府を重点地域、東大阪市を特別地域として、経済団体や金融機関、他大学と連携し、各地域の特長を活かしたREC事業を展開する。

○外部資金の導入・獲得

研究部や知的財産センターとの連携強化により、研究シーズに関する情報を共有しながら、産業界への展開を積極的に推進し、競争的資金の獲得向上に努める。展示会や各種シーズ発表会等においても積極的な情報発信に努め、技術相談や受託研究等から新たな研究会やプロジェクトの創設につなげることで公的資金（補助金・委託金）の獲得をめざす。

○REC BIZ-NET（RECビジネスネットワーククラブ）

金融機関や地域の経済団体等との共催事業や、「ものづくり」をキーワードとした有名講師の招聘などを契機として活動を展開し、BIZ-NET独自の魅力ある研究会を開催する。その中から、会員をコアとした個別研究会を設置し、これらを基盤として研究開発に係る外部資金の獲得につなげる。また、主に技術者を対象としたリカレント講座も引き続き実施する。

○経営者ビジネスミーティング

本学卒業生の経営者等を対象とした「経営者ビジネスミーティング」を開催し、参加企業との情報交換を促進し、技術相談から外部資金の獲得等へ発展させ、本学学生との接点も拡大させていく。また、校友会やキャリアセンターとも連携を深め、開催内容をより有意義なものにしていく。

○社文系産学連携の推進

産業界や行政と連携したりカレント講座を継続して開講し、ニーズに対応した人材育成・人材確保に向けた取り組みの支援を行う。併せて、地域社会との連携強化を図り、新たな人材育成プログラムの開発も積極的に検討する。

3 施設開放の展開

○レンタルラボ入居企業の支援・育成の強化

本学のレンタルラボは、本学教員と入居企業が日常的に密に接触できる研究環境を整備している。この特徴を最大限に活かすとともに、IM（インキュベーション・マネージャー）による技術・経営の両面から、入居企業のステップアップ（巣立ち）を支援する。また、大津市との協力により、地元への企業立地促進を支援する。

○講義室・会議室の開放

生涯学習講座や経済団体による会議・イベント利用を目的として、RECホール・紫光館・大阪梅田キャンパスの講義室や会議室を、広く地域・社会に開放する。また、従来に引き続き、RECコミュニティカレッジ受講者を対象として、RECホール内に無料託児室を設ける。

4 学生ベンチャー育成事業の展開

○大学発学生ベンチャーの育成

大学発ベンチャーの担い手となる学生の発掘・育成を目的に、「教育事業」、「イベント事業」、「インキュベーション（起業支援）事業」の3つの事業に取り組む。これらの事業を通し、社会に貢献できるビジネスリーダーや社会起業家などの人材育成をめざす。

○教育事業「龍起業塾」の開講

アントレプレナーシップ（起業家精神）の涵養を目的とした教育プログラム「龍（ドラゴン）起業塾」を5月から8月にかけて15講座開講する。「龍起業塾」では、起業に必要な知識やプレゼンテーションスキルを身に付けさせることで実践的な人材を養成する。

○イベント事業「プレゼン龍」の実施

本学独自のビジネスプランコンテストとして2001年度から実施する「プレゼン龍（ドラゴン）」を開催し、学生による新規ビジネスの開拓を図る。また、高校生を対象にして2006年度から実施する「アイデアコンテスト」を行うことで、高校生のビジネス教育に貢献する。

○インキュベーション（起業支援）事業

起業を考える学生の相談に応じ、内容に応じて本学がネットワークを持つ創業・ベンチャー支援団体や金融機関を紹介するなど学生発ベンチャーの誕生に向けてサポートを行う。

5 福祉フォーラムの展開

○福祉フォーラム設立15周年事業の実施

「共生塾」、「専門セミナー」、「福祉フォーラム2013」を中核に“福祉”を幅広い視点で捉え、設立15周年を記念して地域社会に向けた社会福祉の発展に寄与できる事業を実施する。また、駅看板広告なども駆使して地域に対する情報発信を行い、幅広い層へ訴求する。

○ 社会の動向に応じた事業の実施

本学教員に加えて滋賀県や天津市の社会福祉協議会など社会福祉問題に精通する有識者を委員として迎え、社会の動向に応じた事業を企画・運営する。また、福祉フォーラム会員や講座参加者から企画募集を行い、関心の高いテーマを取り上げた学習会を実施する。

○ 会員制度の充実検討

会員制度については、会員特典の充実など魅力ある制度となるようさらなる検討を行い、会員数の拡大につなげる。

6 知的財産に関する取り組み

○ 発明の「発掘、出願、権利化」

理工学部を中心に学内における研究内容を把握し、その中から新規性のあるものについて、的確に出願につなげていく。その後の審査請求も滞りなく進め、その過程で発生する拒絶通知への対応は、知的財産アドバイザーを中心に顧問弁理士事務所及び顧問弁護士事務所と相談のうえ、権利確定をめざす。案件によっては、外国での出願・審査請求も実施する。

○ 発明に対する啓発活動

新たに本学に着任した教員に対して個別に訪問活動を行いながら、本学における知的財産に対する取り組みについて理解を深めてもらう活動を展開していく。また、学生に対して知的財産に関する理解を深めてもらう機会として、

公開講座として知的財産セミナーを開催する。これとは別に、顧問弁理士を講師とした「知的財産概論」（正規科目）を開講し、啓発に努めていく。

○ 技術移転の活動

国やその外郭団体、あるいは地方自治体と連携しながら、技術移転の機会を捉えて、RECと共同して本学が所有する知的財産の移転に努めていく。

○ 発明の奨励

知的財産活動に貢献した研究者を対象に発明奨励費として「発明新人奨励費」及び「発明功労奨励費」を付与することにより、教員の発明意欲を喚起し、社会貢献活動に対する理解を浸透させていく。

